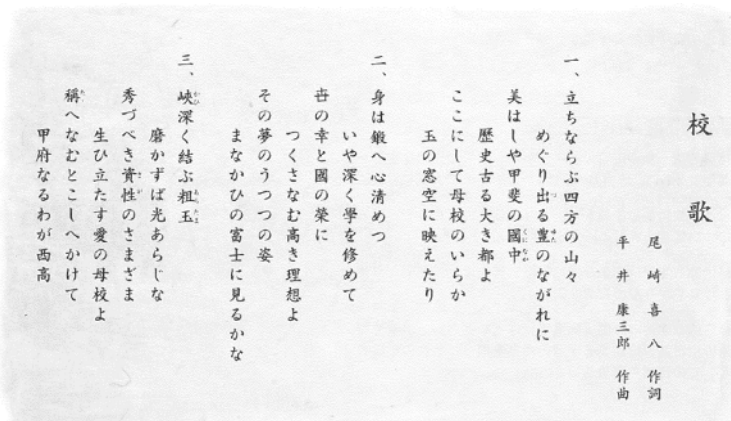




西高校歌を…

新型コロナが蔓延する以前は、行事のたびに甲府西高校では校歌が歌われてきました。

4月の入学式では音楽部の先輩たちの美しい歌声で入学式が華やかに彩られました。例年なら4月には生徒会行事として「校歌練習」があり、音楽の先生による歌唱指導と応援委員の先輩たちによる応援練習の中で1年生に校歌が浸透していきます。5月の高校総体や6月のインターハイ予選、7月の高校野球夏の大会の壮行会では全校生徒で校歌を歌い、選手たちを鼓舞します。各学期の始業式と終業式には全校生徒で美しい校歌が奏でられます。そして、この3月1日卒業証書授与式にはお世話になった3年生のために心からの校歌を贈ります。



しかし、この2年間はその校歌が西高に響き渡ることはなく、校歌を覚える機会もないため1、2年次生の中にはいまだに校歌の歌詞がわからない人が多くいるようです。

このままでは校歌を知らぬ間に高校を卒業してしまうのではないかという不安も出てきました。例年ならばこの2月、3月、4月は校歌を歌う機会が多くなります。皆さんに改めて校歌を覚えてもらうために、1か月前から昼休みに校歌のCDを流させてもらいました。そこで覚えてもらって卒業生に校歌を贈ろうと企てていたのですが……新型コロナ第6波が拡大し、卒業式当日は校歌をみんなで歌えなくなってしまいました。

それでも卒業証書授与式はオンラインで参加し、卒業生の雄姿を視聴し、式最後の校歌斉唱の時には在校生全員で心のこもった校歌を送り届けてほしいと思います。（ミュートは忘れずに！）

いつかきっと再び、西高生全員で西高校歌を笑顔で歌いたい！ 1年次主任 平岩岳実

校歌情報 甲府西高校の前身「甲府第二高校」の校歌はほぼ同じ！3番最後の「わが西高」が「第二高校」だったそうです！おばあちゃんが二高出身だったら一緒に歌えますよ☆彡

～3月行事予定～ 3月は休み（家庭学習日）が多い！新しいことにチャレンジする季節！！

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	火	行	第74回卒業証書授与式(オンライン視聴)	16	水	B	
2	水	B	オンライン授業 短縮45分授業(4校時まで)	17	木	B	進路ガイダンス
3	木		後期募集選抜検査(家庭学習日)	18	金	B	
4	金		後期募集選抜検査採点(家庭学習日)	19	土		春季特別課外(甲斐ゼミ～21日)
5	土			20	日		
6	日			21	月		春分の日
7	月	行	きずなの日 答案返却	22	火	B	
8	火	A	個人写真撮影	23	水		入学許可予定者オリエンテーション(家庭学習日)
9	水	A		24	木	A	キャリアガイダンス職業編
10	木	行	体育祭	25	金	行	後期終業式 退任・離任式 大掃除
11	金		入学許可予定者発表(家庭学習日)	26	土		学年末休業(~3/31) 単位追認試験
12	土		教科書販売(イトーヨーカドー)	27	日		
13	日			28	月		
14	月	B	きずなの日 小論文ガイダンス	29	火		
15	火	B		30	水		
				31	木		

保護者の皆様へ

3月12日(土)新2年次生の教科書販売がイトーヨーカドー甲府昭和内「柳生堂書店」にて行われます。お取り置き等はできませんので、当日営業時間内に購入していただくようお願いいたします。詳細につきましては、お子様を通じて購入票をお渡ししてありますので、ご確認ください。

◎先生方からの寄稿 今月は5組の担任 横内裕三先生、副担任 有賀 駿先生です。

「傾聴力」と「主張する力」

横内 裕三

最近、尊敬する方から教えてもらった「SPODUCATION」というサイトにハマっています。5組の人には少し紹介しましたね。

スポーツから学ぶ人間力 ～スポーツが持つ「人を育むチカラ」を人間形成に～をテーマに様々なスポーツ選手と著名人が対談する映像を配信しているサイトです。1つの対談が1時間程度です。その中でも、坂井 伸一郎（著者）× 村井 満（Jリーグ チェアマン）の対談が印象に残っています。

村井さんが、「海外で活躍し続ける選手」と「国内で途中挫折した選手」の違いについて、10年間データを取り続けていたようで、1つ目が「G-P(GOOD-POOR)分析」技術やフィジカル、精神力などで相関が出るのか？結果は「大した違いはなかった」ようです。しかし、2つ目のコンピテンシー評価（優れた成果を創出する個人の能力・行動特性のこと）を行ったら、めっちゃめっちゃ相関が出た項目が標記の2つの項目だったようです。（ちなみに傾聴には1.内的傾聴、2.集中的傾聴、3.全方位傾聴の3つがあり次に挙げる選手は2が高かったようです）本田圭佑、長友佑都、岡崎慎司は、特にこの項目の数値が高い。例えば、長友は当初怪我が多いことが悩みで、どうにか克服しようとその筋の専門家に聞きまくった結果、「栄養学」にたどり着き、岡崎はFWなのに「足が遅い」のを克服しようと陸上のコーチを雇い練習を続けた結果、「スポーツバイオメカニクス」にたどり着きました。2人ともサッカー選手でありながら「栄養学」に関する本や「鈍足バンザイ」という本を出版するまでになっています。

彼らは自分の短所を克服すべく、いろんな人に聞きまくって、それを実践して、さらに周囲にも伝えて・・・という傾聴と主張のサイクルを高速で回していくことができる。なので、失敗してもそれを失敗とせず成功への1つの過程であると考えているので立ち直りも早い。この考えを村井さんは「リバウンドメンタリティー」と名付けています。彼らは「リバウンドメンタリティー」を高いレベルで維持しているそうです。

このサイトを教えてくれた人は年配の方ですが、今でも高い探究心を持ち続けています。若いころから勉強熱心で極めたいことに関してはあらゆる手段を使っていました。海外からコーチを連れてきたり、コーチ書が英語なら英語の先生に聞いて訳してそれを周囲に伝えたり。たまにしか会いませんが、会った時には、自身の過去の知識や経験だけではなく、それを最新のものにアップデートした形で伝えてくれます。「またレベル上がってるよー、このおじいちゃん！」みたいな（笑）

私も生涯を通じて学びを継続して、自然と「自分のため」が「他人の育成」につながるような生き方を目指します。伝える機会を与えてくださりありがとうございました。



Find the Purpose!

有賀 駿

入学してもうすぐ1年ですね。約半年前の年次日よりで文理選択のアドバイスに「明確な目的をもちましょう」と書きましたが、どうですか？私の場合、サッカー→言語→英語(教員)で文系を選択しました。大学進学後はより深く英語を学び、3年次にはオーストラリアでインターンシップを行いました。限られた期間ではありましたが、英語を話す地で働いた経験は、私にとって忘れられないものとなりました。もし、英語を専攻していなかったら、同じ経験はできなかったと思います。ちなみに文理選択のきっかけになったサッカーは現在も続けています。月に1試合、そのための練習が週に1度くらい、最近では活動自粛ですが、好きなことは長続きするものですね。

長続きと言えば、54歳までJ1リーグでプレーし、（今季は出場機会を求めて別カテゴリーのチームへ移籍しました）世界最高齢での得点記録を持っている三浦知良選手は「失敗して、考え悩むこともあるだろうけど、立ち止まっていたはいけない。一気に100メートルも進まなくていい。1センチでもいいから前に進もう。」と言っています。ひたむきでかっこいいですね。勉強でも同じですね。

気が付くと2022年になり2か月が過ぎました。自分に合った進路実現をするために多くのことに挑戦しましょう。そして、クラス・年次の仲間と切磋琢磨し、素敵な高校生活を送ってください。皆さんが1センチでも前（目標・目的）に進めるように全力でサポートしていきます。

